

平成29年度

全国体力・運動能力、 運動習慣等調査

報告書

目次

● 調査の概要	● 4
● 調査結果に関する注意事項と説明	● 6
第1章 調査結果の概要	● 7
1. 実技の状況	● 8
2. 1週間の総運動時間と体力・運動能力	● 16
3. 1週間の総運動時間から見た昭和60年度の平均値以上となった児童生徒の割合	● 18
4. 運動やスポーツに対する意識	● 20
5. 生活習慣と体力	● 29
6. 体格(肥満・痩身傾向)と体力、運動習慣	● 32
第2章 テーマ分析と取組事例	● 33
テーマ1 運動をしない児童生徒の割合が減少している学校	● 34
・分析結果のまとめ	● 36
・学校の取組事例	● 42
・取組事例	● 44
テーマ2 走力・跳力・投力が向上している学校	● 60
・分析結果のまとめ	● 62
・学校の取組事例	● 66
・取組事例	● 68
● 特別支援学校の取組	● 84
テーマ3 教育委員会の取組状況	● 88
・分析結果のまとめ	● 90
・教育委員会の取組事例	● 92
・取組事例	● 94
第3章 基礎集計	● 105
● 全国集計	
I 小学校児童の調査結果	● 106
II 中学校生徒の調査結果	● 128
III 学校質問紙調査の結果	● 150
IV 教育委員会質問紙調査の結果	● 166
V 本調査からわかったトピックス	● 172
● 都道府県別集計	
I 小学校	● 178
II 中学校	● 186
資料編	● 195
● 実施要領	● 196
● 小学校(児童調査票・学校質問紙調査票・記録シート)	● 199
● 中学校(生徒調査票・学校質問紙調査票・記録シート)	● 202
● 教育委員会質問紙調査票	● 205
● 項目別得点表・総合評価基準表	● 206
● 取組チェックシート	● 裏見返し

テーマ1 取組事例

● 小学校

- 事例1 ・運動が好きな児童の育成／神奈川県横浜市立神大寺小学校 ●44
- 事例2 ・児童の体力の向上・生活習慣の改善に向けて／山梨県笛吹市立石和北小学校 ●46
- 事例3 ・運動好きの子供を育てる―体育授業と遊びの充実―／三重県四日市市立三重北小学校 ●48
- 事例4 ・目指せ！体育人・運動好きな児童の育成／高知県高知市立秦小学校 ●50

● 中学校

- 事例5 ・多様な運動の経験を通して運動の楽しさを味わう体力の向上への取組
～自ら運動に親しみ、楽しさを実感する実践を通して～／北海道北斗市立上磯中学校 ●52
- 事例6 ・主体的に運動する生徒の育成～教科・教科外での取組～／秋田県能代市立能代第二中学校 ●54
- 事例7 ・運動が好きな生徒を育み、体力の向上を図る学校教育活動／福島県湯川村立湯川中学校 ●56
- 事例8 ・「協働」と「競争」で本気を引き出す体力の向上の取組／福岡県豊前市立八屋中学校 ●58

テーマ2 取組事例

● 小学校

- 事例9 ・学校・家庭・地域の協働で取り組む体づくり／宮城県仙台市立八幡小学校 ●68
- 事例10 ・「できた」を実感し、仲間と運動の達成感を味わう取組
～体力の向上と自己肯定感の醸成～／新潟県燕市立吉田北小学校 ●70
- 事例11 ・「自ら体を鍛える津田っ子」の育成を目指して／愛知県豊橋市立津田小学校 ●72
- 事例12 ・受動的体力づくりから、能動的体力づくりへの転換／広島県広島市立井口明神小学校 ●74

● 中学校

- 事例13 ・体力・運動能力の向上を目指した取組／岩手県奥州市立江刺南中学校 ●76
- 事例14 ・中等教育学校の特徴を生かした体力の向上への取組／群馬県伊勢崎市立四ツ葉学園中等教育学校 ●78
- 事例15 ・多角的に運動に関わる―学校生活全体での運動習慣の定着―／和歌山県紀の川市立荒川中学校 ●80
- 事例16 ・「一緒にやったら楽しいね!」～庄中“スポーツ大好き生徒”を育成する取組～／岡山県倉敷市立庄中学校 ●82

特別支援学校の取組

● 小学校

- 事例17 ・個に応じた運動プログラムの継続 児童の「できた・もっとやりたい」を育てる取組／
茨城県立水戸飯富特別支援学校(小学部) ●84

● 中学校

- 事例18 ・「分かる」「できる」「関わる」楽しい体育学習を目指して／宮崎県立都城きりしま支援学校(中学部) ●86

テーマ3 取組事例

- 事例19 ・運動が好きな児童生徒を育成するために～マネジメントサイクルの確立を通して～／広島県教育委員会 ●94
- 事例20 ・子供に運動に対するときめきを～運動習慣の二極化改善への取組～／香川県教育委員会 ●96
- 事例21 ・運動好きな子供たちの育成を目指して／長野県長野市教育委員会 ●98
- 事例22 ・運動への興味・関心を高め、体力の向上を図る～SHINAGAWAアクティブライフプロジェクト～/
東京都品川区教育委員会 ●100
- 事例23 ・学校課題に即した体力の向上～体力向上プランを活用して～／群馬県大泉町教育委員会 ●102

● 調査の概要

1 調査の目的

- 国が全国的な子供の体力の状況を把握・分析することにより、子供の体力の向上に係る施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- 各教育委員会が自らの子供の体力の向上に係る施策の成果と課題を把握し、その改善を図るとともに、子供の体力の向上に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。
- 各学校が各児童生徒の体力や運動習慣、生活習慣等を把握し、学校における体育・健康等に関する指導などの改善に役立てる。

2 調査の対象及び内容

(1) 児童

① 調査対象者

小学校、義務教育学校前期課程及び特別支援学校小学部の5年生全員

② 調査内容

ア 実技に関する調査

〈テスト項目〉

握力、上体起こし、長座体前屈、反復横とび、20mシャトルラン、50m走、立ち幅とび、ソフトボール投げ

イ 質問紙調査（運動習慣、生活習慣等）

(2) 生徒

① 調査対象者

中学校、義務教育学校後期課程、中等教育学校及び特別支援学校中学部の2年生全員

② 調査内容

ア 実技に関する調査

〈テスト項目〉

握力、上体起こし、長座体前屈、反復横とび、持久走（男子1500m、女子1000m）又は20mシャトルラン、50m走、立ち幅とび、ハンドボール投げ

イ 質問紙調査（運動習慣、生活習慣等）

(3) 学校

① 調査対象校

小学校、中学校、義務教育学校、中等教育学校前期課程及び小学部もしくは中学部を置く特別支援学校の全校

② 調査内容

質問紙調査（子供の体力の向上に係る学校の取組等）

(4) 教育委員会

① 調査対象

全教育委員会

② 調査内容

質問紙調査（子供の体力の向上に係る施策等）

3 調査の実施時期

平成29年4月～7月

4 調査の実施状況

(1) 児童生徒及び学校

	調査対象児童生徒数 (A) ※1	実施児童生徒数 (B)	実施率 (B/A)	調査対象校数 (C) ※2	実施校数 (D)	実施率 (D/C)
小学校	1,089,839	1,063,693	97.6%	20,417	20,137	98.6%
国立	6,610	6,435	97.4%	108	100	92.6%
公立	1,070,280	1,050,062	98.1%	20,122	19,889	98.8%
私立	12,949	7,196	55.6%	187	148	79.1%
中学校	1,122,613	1,022,561	91.1%	10,986	10,589	96.4%
国立	10,823	9,766	90.2%	114	102	89.5%
公立	1,031,519	961,769	93.2%	10,200	9,941	97.5%
私立	80,271	51,026	63.6%	672	546	81.3%

※1 国立及び公立は、本調査の実施に際し、国立大学法人及び地方公共団体から回答を得た児童生徒数、私立は、平成29年度学校基本調査に基づく児童生徒数による。

※2 本調査の実施に際し、国立大学法人及び地方公共団体から回答を得た学校数による。

(2) 教育委員会

	調査対象教育委員会 (E)	実施教育委員会 (F)	実施率 (F/E)
教育委員会	1,800	1,799	99.9%
都道府県	47	47	100.0%
指定都市	20	20	100.0%
市区町村・組合	1,733	1,732	99.9%

● 調査結果に関する注意事項と説明

- ①本調査の集計・分析において、実技調査、児童生徒質問紙調査、学校質問紙調査の回答の精査を行い、一部のデータ（実技調査の上限値・下限値からはみ出たデータなど）は集計・分析の対象外としている。
- ②本調査の結果においては、平均値が必ずしも調査結果の全てを表すものではなく、標準偏差などの情報と併せて総合的に結果を分析し、評価することが必要である。
- ③実技調査と児童生徒質問紙調査、学校質問紙調査のクロス集計に関しては、必ずしも因果関係を示したものではないことに留意する必要がある。
- ④報告書に掲載している数値は、元の数値を四捨五入して示している。
 小数第2位で示している数値→元の数値の小数第3位を四捨五入
 小数第1位で示している数値→元の数値の小数第2位を四捨五入
 （例：小学校男子の体力合計点 元の数値「54.1591……」
 →54.16（小数第3位を四捨五入）、54.2（小数第2位を四捨五入））
- ⑤集計結果における百分率は、小数第2位を四捨五入し、小数第1位までで示しているため、百分率の合計が100%にならないことがある。（複数回答を除く）
- ⑥本調査は平成20年度より実施しているが、平成22年度と24年度は抽出調査による実施、また平成23年度は中止した。

用語	解説
標本数	・平均値、標準偏差、T得点を算出した人数・学校数・件数。
平均値	・調査結果（テスト成績）の算術平均値で集団の尺度上の位置を示す。 「平均値＝調査結果の総和/標本数」
標準偏差	・調査結果の個人差の大きさを示す。平均値±標準偏差の範囲内に全体の68%が入る。 ・平均値±標準偏差の3倍の範囲内にほぼ全体が入る。（いずれも正規分布の場合） 「標準偏差＝分散の平方根、分散＝偏差平方和/（標本数－1）、 偏差平方和＝偏差の平方の総和、偏差＝調査結果－平均値」
体力合計点	・実技テスト項目における得点の合計。
1週間の総運動時間	・ふだんの1週間について「学校の体育・保健体育の授業以外で、運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツを、合計で1日おおよそどのくらいの時間していますか」に対する各曜日の回答の合計。 ※「体を動かす遊びを含む」の文言は平成26年度より追加した。 ※平成24年度までは、各曜日の運動時間を調査していないため、欄外の算出方法にて求めた。

●参考 1週間の総運動時間の算出方法（平成20、21、22、24年度）

- ①平日の運動時間：平日の時間帯別運動時間（朝始業前、中休み、昼休み、放課後、下校後）の回答を合計
- ②平日の運動日数：「運動やスポーツをどのくらいしていますか」の回答を次のように換算
（1.ほとんど毎日＝4日）（2.時々＝1.5日）（3.ときたま＝0.5日）（4.しない＝0.1日）
- ③平日の総運動時間：平日の運動時間①×平日の運動日数②
- ④土曜日の運動日数：「ひと月あたり何回の土曜日に、運動やスポーツをしていますか」の回答を次のように換算
（1.月に1回＝0.25日）（2.月に2回＝0.5日）（3.月に3回＝0.75日）（4.月に4回＝1日）
- ⑤土曜日の総運動時間：土曜日の運動時間×土曜日の運動日数④
- ⑥日曜日の運動日数：「ひと月あたり何回の日曜日に、運動やスポーツをしていますか」の回答を次のように換算
（1.月に1回＝0.25日）（2.月に2回＝0.5日）（3.月に3回＝0.75日）（4.月に4回＝1日）
- ⑦日曜日の総運動時間：日曜日の運動時間×日曜日の運動日数⑥
- ⑧1週間の総運動時間：平日の総運動時間③＋土曜日の総運動時間⑤＋日曜日の総運動時間⑦